

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもてらす光風台		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 1日		令和 7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数) 61名
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 1日		令和 7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>●親子療育に注力している</p> <p>親子で参加できる支援プログラムを多数実施している。</p>	<p>●親子関係の構築</p> <p>親子での活動を行い、親子での信頼関係・愛着関係を深めるようなプログラムを実施している。保護者と、子どもの様子を密に確認しあうことができる。</p>	<p>●勉強会等の実施</p> <p>児童の特性に応じた勉強会や就学相談を実施し、保護者が子どもへの理解を深める機会を設ける。</p>
2	<p>●小集団による、課題に沿ったプログラムの実施</p> <p>小集団の療育を主として提供しており、子どもに応じた個別支援を実施できている。</p>	<p>●児童の特性把握</p> <p>特性に応じたクラスを編成することで、一人ひとりに応じた支援プログラムを実現できている。個別での取り組みと、小集団での取り組みのどちらも行っている。</p>	<p>●自己研鑽に努める</p> <p>事業所内研修や、外部研修などに積極的に参加し、職員の質の向上を更に図っていく。</p>

3	<p>●発達外来と小児リハとの繋がりがある</p> <p>こどもてらすは病院内にあり、医師や理学療法士、作業療法士、言語療法士と密に連携を取れている。</p>	<p>●医療との連携</p> <p>こどもてらすが院内にあるため、各部署と必要に応じて情報共有し、チームによって児童の支援にあたっている。</p>	<p>●多職種連携</p> <p>定期的なカンファレンスの開催を計画し、更に共通理解を深める。また、他職種の理解を深め、各々の専門性を発揮しやすい環境を整える。</p>
---	---	---	--

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>●保護者や家族向けのサービスが少ない。</p> <p>保護者会等を開催しているが、保護者様同士の連携が支援されているとはいえない。</p>	<p>●小集団または個人を対象にしているため。</p> <p>こどもてらすでは、小集団における支援を提供させていたため、保護者同士の連携は自然に発生しない環境にあると考えられる。</p>	<p>●保護者向けの座談会、勉強会の開催</p> <p>本アンケートの結果を受け、こどもてらすで保護者会や勉強会の開催を企画している。こどもてらすに所属している理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による療育方法の紹介や、保護者同士の交流が気軽にできるような場の提供を想定している。</p>
2	<p>●活動内容が分かりにくい。</p> <p>広報誌「こどもてらす通信」を年4回発行しているが、全ての保護者の手元にはいきわたっていない。</p>	<p>●広報活動が小規模のため</p> <p>活動内容の写真撮影を禁止させていただいているように、こどもてらすでは個人情報の厳守に取り組んでいる。その為、広報活動も小規模となり、保護者に活動内容が届きにくい状況になっていたと考えられる。</p>	<p>●保護者への情報共有を密に行う。</p> <p>広報誌「こどもてらす通信」が新しく発行された際は、声掛けを実施して目を通していただく、保護者に対して活動の振り返りを細かに報告するなどを実施する。職員と保護者の情報共有を実施することで、わかりにくさの解消を目指す。</p>
3			